

「概説」の参考事例

1 「概説」刊名の参考例

- ・北海道の歴史
- ・北海道のあゆみ
- ・概説 北海道の歴史
- ・北海道史概説
- ・新しい北海道史
- ・新説 北海道史

2 通史タイプ概説書の事例

	書名／編者・発行者／刊年	形態	特徴	刊行の趣旨（前書きなどより抽出・要約）
①	「新北海道史 第一巻 概説」 北海道編・発行 1981年刊	A 5 判 上製本 367頁	「新北海道史」計9巻（通説5巻・史料編3巻・概説1巻）の1つ。通説5巻の内容を要約。	できうる限り簡潔・平易なることを期したが、単なる通説にとどまらず、通説では触れ難かった全国及び世界史との関係にも触れようとしたため、通説5巻の内容を簡潔・平易に叙述し、その要領を得ようという方針は貫徹しえなかった。
②	「新版 北海道の歴史 上・下」 長沼孝・関秀志ほか編 北海道新聞社発行 2011/2006年刊	A 5 判 並製本 536/440頁	上＝古代・中世・近世編 下＝近代・現代編 榎本守恵著「北海道の歴史」（1981 北海道新聞社刊）の改訂版として企画。	近年出版されている北海道史の概説書と違った特色を出すよう努めた。高校生以上の読者向けに内容を精選し、表現を簡潔にすること、地域的には北海道に限定せず、周辺地域との関連を意識し、アイヌ民族問題には各章でしっかり触れることなどに努めた。（下巻あとがき）
③	「北海道の歴史」 田端宏・桑原真人・船津功・関口明著 山川出版社発行 2009年刊	A 5 判 並製本 376頁	榎本守恵・君尹彦著「北海道の歴史」（1969 山川出版社刊）の改訂版として企画。	本書の旧版刊行から約30年が過ぎ、この間の激変する現代を含めて、旧版にかわる新しい北海道史の通史をまとめてみようという企画。近・現代史に関しては、本書の姉妹編というべき永井・大庭編「北海道の百年」がすでに刊行されており、ある程度問題を限定して叙述した。（あとがき）
④	「概説 松前の歴史」 松前町町史編集室編 松前町発行 1994年刊	A 5 判 並製本 292頁	「松前町史」全7巻完結の翌年に刊行。編集者永田富智氏執筆。新松前町発足40周年記念事業として、町民各戸に配布。	「松前町史」全7巻は、学術的にも高く評価され、それ故に一般町民にとって親しみ難い存在となり、些か残念。出来るだけ多くの町民に、松前町の草創から今日迄の大凡を知っていただき、これからの町づくりへの大きな糧となるように、その大綱を“親しみやすく、わかりやすく”を願いとして発刊した。（発刊にあたって）

